

2024 年 2 月 13 日

報道関係各位

三菱地所株式会社

～空飛ぶモビリティで、まちに、人に、次の豊かさを～
空飛ぶクルマの社会実装に向け、都心でのヘリコプター運航実証を開始
コンセプトムービー「移動が変わり、ビジネスが広がる」を公開

三菱地所株式会社は、日本航空株式会社、兼松株式会社と共に、2022 年より参画している東京都の「[都内における空飛ぶクルマを活用したサービスの社会実装を目指すプロジェクト](#)」において、2024 年 2 月 10 日より、新丸ビル屋上と臨海部を繋ぐ航路で、ヘリコプターを使用した計 5 日間の運航実証を開始致しました。

今回の実証実験※1 では、公募による一般モニターに搭乗いただき、搭乗時の顧客体験上の課題抽出や適性価格調査を通じた事業性検証、都心部において空飛ぶクルマを運航した際のオペレーション確認、音や風の周辺環境への影響などの技術的検証を主目的としています。

空飛ぶクルマの活用は、都市部での渋滞解消、交通インフラが不十分な地域での移動手段の提供、災害時の利用など、様々な社会課題解決に加え、移動時間の短縮などの利便性向上、観光等の特別な体験価値の提供など幅広い展開が期待されております。

当社は、2022 年に「空の移動革命に向けた官民協議会」に参画、「御殿場プレミアム・アウトレット」・「酒々井プレミアム・アウトレット」でのヘリコプター遊覧事業を展開してきたほか、今回の東京都の実証をコンソーシアム代表企業として受託する等、不動産デベロッパーとしては先進的な取り組みを推進してきました。

引き続き、当社が展開する商業施設、ホテル、空港拠点などを起点としたサービス活用も視野に入れながら、空飛ぶモビリティの社会実装に向けて、幅広いパートナーと協業し、新たな空の移動手段の実現に取り組んでまいります。

コンセプトムービー：「移動が変わり、ビジネスが広がる」

<https://youtu.be/RGMZKzB-eKE>



▲モニター参加者が搭乗する様子
(新丸ビル屋上)



▲大丸有エリア／空飛ぶモビリティ・Vertiport イメージ
©Designed by Mitsubishi Jisho Design

■実証実験概要

プロジェクト実施者	実施主体：三菱地所株式会社、日本航空株式会社、兼松株式会社 運航協力：朝日航洋株式会社
実 施 日	2024 年 2 月 10 日（土）、2 月 11 日（日）、2 月 12 日（月）、 2 月 17 日（土）、2 月 18 日（日） 午前 10 時から午後 4 時まで、1 日あたり最大 6 便を運航
運 航 ル ー ト ※下図参照	都内 3 地点間を 5 つの航路で運航。搭乗時間は約 15 分。 - 新丸ビル屋上（千代田区丸の内 1 丁目 5-1） - ゆりかもめ青海駅南側特設会場（江東区青海 2 丁目 1） - 東京ヘリポート（江東区新木場 4 丁目 7-25）
モ ニ タ ー 人 数	約 70 名（予定） ※2023 年 12 月 12 日～2024 年 1 月 14 日の期間で一般公募
運 賃	すべての航路一律 17,600 円/名（税込）



【今回実証の目的】

- 一般モニター搭乗時の顧客体験上の課題抽出
- 適性価格調査を通じた事業性検証
- 都心部において空飛ぶクルマを運航した際のオペレーション確認
- 音や風の周辺環境への影響などの技術的検証

【コンソーシアム各社の役割】

三菱地所株式会社	プロジェクト全体取りまとめ 不動産アセットなどへの空飛ぶクルマ用離着陸場実装に向けた課題、解決策の提示 運航実証を行うロケーションの提供
日本航空株式会社	空飛ぶクルマ運航サービスビジネスモデル検討 運航および離着陸オペレーション実証の企画
兼松株式会社	海外での技術、規制動向などの提供 空飛ぶクルマ用離着陸場運営サービスにおけるビジネスモデル構築 注) 2020 年より Skyports と業務提携。

■当社が描く空飛ぶクルマを活用した「次のまち」

コンセプトムービー：「移動が変わり、ビジネスが広がる」

<https://youtu.be/RGMZKzB-eKE>

空飛ぶクルマ事業は当社が描く「次のまち」の一要素として位置づけています。移動時間が大幅に短縮され、移動時間の価値が向上し、場所や人の距離が縮まります。そうした近未来に訪れる空飛ぶクルマによる移動革命は、ビジネスを広げ、ボーダレスな世界を創り、ライフスタイルを大きく変容させると考えています。

この度、当社が描く空飛ぶクルマが街の一部となる世界を示すコンセプトムービーを作成いたしましたので公開いたします。



▲大丸有エリアを飛行する空飛ぶモビリティイメージ
@Designed by Mitsubishi Jisho Design

■当社のこれまでの空飛ぶクルマ事業の歩み

- 2021 年 空飛ぶクルマ事業 社内での構想開始
- 2022 年 1 月 御殿場プレミアム・アウトレットでのヘリコプタークルージングサービスを開始
https://www.mec.co.jp/news/archives/mec220121_gotenba_helicopter.pdf
- 2022 年 2 月 丸の内で“空飛ぶクルマ”一般向け VR 体験の実証実験を実施
https://www.mec.co.jp/news/archives/mec220202_evtol_vr.pdf
- 2022 年 3 月 「空の移動革命に向けた官民協議会」参画
- 2022 年 5 月 「都内における空飛ぶクルマを活用したサービスの社会実装を目指すプロジェクト」の公募開始（東京都リリース）
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2022/05/19/02.html>
- 2022 年 7 月 酒々井プレミアム・アウトレットでのヘリコプタークルージングサービスを開始
https://www.mec.co.jp/news/archives/mec220714_shisuioutlet.pdf
- 2022 年 8 月 東京都「空飛ぶクルマを活用したサービスの社会実装を目指すプロジェクト」に参画決定
https://www.mec.co.jp/news/archives/mec220804_soratobukuruma.pdf

■実証実験の様子 (2024年2月10日撮影)



▲新丸ビル屋上に着陸しようとするヘリコプター



▲新丸ビル屋上に着陸しようとするヘリコプター



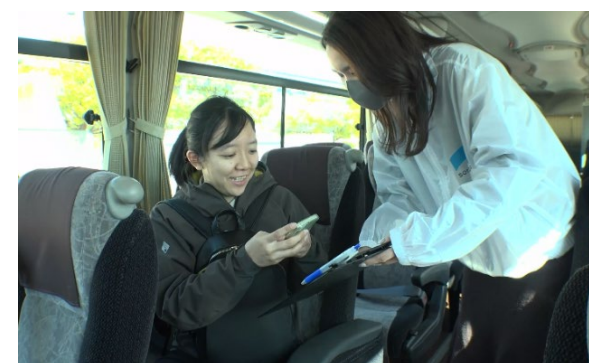
▲ゆりかもめ青海駅南側特設会場 離陸の様子



▲一般モニター受付 (行幸地下通路)



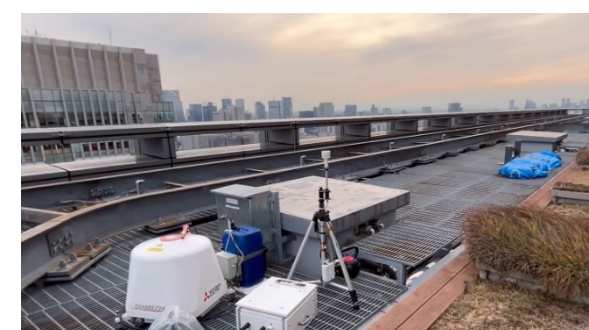
▲一般モニター参加者の飛行時の様子



▲一般モニター参加アンケート調査の様子



▲新丸ビル 34 階に設置された騒音計



▲新丸ビル 34 階に設置された
超音波風速計と鉛直照射型ドップラーライダー

○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」



丸の内
Re デザイン

三菱地所は、2020 年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ※」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース： https://www.mec.co.jp/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf